

## ハナミズキの育て方

ミズキ科ミズキ属の落葉中木で、アメリカ東部やメキシコ北東部に分布しています。樹高は3～5m位で、8月頃つぼみを形成し、翌年の4月下旬～5月中旬頃に開花します。花弁のように見えるのは苞で、本来の花は苞の中心部に黄緑色の小花が20個ほど集まっており、秋には実が紅色に熟し、落葉後も樹上に残り観賞価値があります。

### 主な品種と特徴

チェロキープリンセス（白花）花付きが良く、樹勢が強健。

クラウドナイン（白花）大輪で花付きが良い。矮性で鉢でも作れる。

レインボー（白花）葉に黄色の覆輪。花も大輪で美しい。

ジュニアミス（桃花）花色がピンクのほかして美しい。若木でも花付きが良い。

チェロキーチーフ（赤花）花色が濃紅色で多花性。

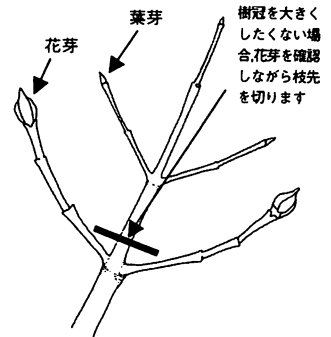
### 栽培のポイント

#### 植え付け

特に土質は選びませんが、乾燥には弱いので、乾きやすい場所は避けます。また、花や実が上向きにつくので、2階の窓辺などから眺められるように植えるとよいでしょう。

#### 剪定

強剪定は必要なく、ヒコバエや徒長枝、混み合っている細い枝を取り除く程度の弱い剪定で円錐形の樹形が出来上がります。落葉期の12～2月に花芽を確認しながら行います。



ハナミズキの剪定(枝先)

#### 病害虫

害虫はアメリカシロヒトリやカイガラムシ、病気はうどんこ病やすす病が多く発生します。殺虫剤（スミチオン乳剤、マシン油乳剤など）や殺菌剤（ベンレート水和剤など）で定期的に防除します。また、コウモリガなどのせん孔性害虫の発生も見られますので、穴に殺虫剤を注入して駆除します。

#### 殖やし方

実生が一般的です。実が完熟する前の9月頃に核(果実)から種子を取り出して、湿った砂の中に入れるなどして乾燥させないように寒い場所で保存し、春に播種します。

斑入りなどの品種は、接木で殖やします。強健種の実生の2年苗を台木にし、2～3月に接木して暖かいところで管理します。

#### 年間管理

管理	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
剪定		←→											
施肥		←→ 油粕と骨粉を等量混合したもの1kgを3ヶ所に分けて(樹高2mの場合) ←→											
植え付け		←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→											
病害虫防除		←→ 冬期防除(マシン油乳剤など) ←→ スミチオン乳剤・ベンレートなど ←→											